

## 三 役 会 議 事 録

開催日時：平成25年5月18日（土） 午後4時

場 所：近畿大学34号館実験棟 2階学科事務室

出席者：会長 野田 文久， 副会長 久利 良夫， 副会長 東山 浩士， 書記 蜂谷 健

### 1. 平成24年度会計報告（別紙参照）

### 2. 名簿発行状況

名簿の整理は終了し、現在は富田社会環境工学科長の挨拶文の出来上がりを待つばかりとなっている。

卒業生から催促もあるため、なんとか5月中に発送したいと思っているが、学科長の挨拶文が届くのを待っている状況。

来週中に届かない場合には、もう一度学科長に催促してみる。

### 3. 70周年記念誌について

名簿の発行にかかる費用については、カラー50ページ，白黒50ページ程度の冊子として、1,000部を発行するものとして1冊あたり4千円程度かかる見込み。（総額400万円） 発行部数が減っても総額はあまり変わらないため、名簿購入者の確保をしないと発行が難しい。

資料の収集・作成と平行して記念誌を購入してもらえるように土木会への理解を得られないと、記念誌を発行できたとしても、大きな赤字を背負うことになってしまう。

今後、記念誌を購入してもらえるような方策を考えていかなければならないが、大学を退任された先生方には優先して文書の作成を依頼する。

#### 4. その他

##### 1) 土木会の事務をしていただいている乾さんから6月末で辞めたいとの申し出があった。

名簿の発行については、ほぼ終了している時期であるが、土木会事務局の仕事には、「ホームページの更新」、「土木会通信の作成」、「交流会会場の手配」等があり、乾さんには出来れば週に1回か2週間に1回でよいのでお手伝いを願えないか打診してみる。

##### 2) 校友会について

校友会への入会について「梅土会」において検討をしていたが、校友会支部は「地域支部」、「職場支部」、「医師・弁護士支部」の分類であり、「梅土会」はその支部要件には当たらない。土木会は支部要件に入るようであるが、今後、校友会への入会した場合の長所・短所を分析し考えたい。

##### 3) 土木会会員について

新規の入会を促進する方法として、現在卒業する学生に入会をしてもらっているが、入学時に入会をしてもらうことを検討する必要があるのではないか。その代わりに入会した学生には交流会等の催しに参加してもらったり、名簿発行時には学生に配ったりすることを考える。

他の大学の事例も考えてみる。

##### 4) 交流会について

毎年、9月の最終土曜日としているため、本年は9月28日(土)となるが、翌日に大学のオープンキャンパスが開催されるため、10月5日(土)とする。(今後もオープンキャンパスと重なるため、開催日を10月第一土曜への変更する?)

本年の交流会は、幹事会・キャリア支援・交流会の順に行い、幹事会終了後のキャリア支援開催中に大学の見学会を催す。

##### 5) 役所支部へのアプローチについて

今後の土木会への協力を仰ぐために、役所の支部への働きかけを考える。

学生の役所への受験に際しての相談も視野に入れる。